



東日本大震災 災害救援レポート 13

宮城県南三陸町

「南三陸さんさん商店街」



復興支援
買い物ツアー

商工会議所の方から話を聞く



フードコートで食事



豚丼作りもボランティアの協力でスムーズに

岩手県陸前高田市

北海道チーム
支援を継続 10/22～26



好評の豚丼



片地家仮設団地の皆さんと食事会



12/4～5



高田保育園で、クリスマス会



矢作小学校で、プレゼントをお届けした

福島県郡山市



本部に寄せられた被災地からの年賀状



福島県農業総合センターでの双葉町自治会クリスマス会で昼食提供と集会を支援



↑生まれて初めてクリスマス集会に出た、という人も



←温かい豚汁を提供

町に浪江小隊（教団にあたる）があるためか、救世軍を歌い、短いひと時を楽しんだ。

十二月二十二日、東京地区からのチームが、福島県郡山市に双葉町から避難して借り上げ住宅に住んでいる方々の自治会クリスマス会で、昼食提供とクリスマス集会の奉仕をした。

十二月四～五日、北海道チームが、陸前高田市の施設や仮設住宅、十六箇所を訪問し、バスタオルやお菓子、また関連企業や他教会からの委託品などを届けた。また、十箇所でクリスマス集会をおこない、最後に訪問した仮設住宅では、昼食に簡単にできるピビンバを一緒に作って楽しんだ。多くの訪問先で、仮設住宅の方々が談話室などに集まって待っていてくださり、温かく迎えていた。

十月二十二日～二十六日、北海道チームが、岩手県陸前高田市、気仙町の自治会館や仮設団地を訪れ、食事会（十勝豚丼を総計九百食）を開き、要請のあったジャガイモや米などを届けた。同時期に、救世軍人を中心に、横浜・東京からの「復興支援買い物ツアー」がおこなわれた。二泊三日の日程で、バスで被災地を回り、救世軍が支援した仮設商店街（宮城県女川町「希望の鐘商店街」と南三陸町「南三陸さんさん商店街」）で買い物をし、ホテルで宿泊することで、自分たちのできる復興支援をするというものであった。十二月に入り、厳しい寒波に襲われたクリスマスにかけて、被災地の方々への支援がおこなわれた。

被災地では、復興がなかなか進まない中、疲れを覚えている被災者の方々に対して、救世軍は精神的な支えを意識した支援を継続している。

東日本大震災 災害救援レポート 14



宮城県南三陸町・志津川

↑冬の寒さをしのぎ、作業ができるように設営された大型テント



テントの引き渡し式では、完成を漁師の方々と共に喜んだ

岩手県陸前高田市



屋根の工事も終わり、雨漏りもなくなった

仮園舎の痛みをのびのび保育園の修繕を支援（高田保育園）



← ↓ 3個所のコミュニティーセンターに、長机 140 台とパイプ椅子・座布団 300 を提供



長机とパイプ椅子は、仮設住宅に住む人々の交流の場となる会合や敬老会などでよく用いられている



宮城県女川町・出島

← 漁場監視船兼救急搬送船が離島の漁協に提供された



式典は強風のため、番屋の中で行なわれた



↑ 船から、お祝いの「餅まき」もなされ、喜ぶ島民の人々

次に、津波で使えなくなったウインチを提供する予定→



船の鍵が漁協の代表者に渡された



岩手県大船渡市

2012 年大晦日、永沢仮設住宅を訪問



年越しそばとおせち料理をお届けし、交流の時をもった

救世軍では、現在まで被災地の変化する必要を調査しつつ、現地の要請に応える支援を続けている。そのために、国際的な救世軍のネットワークを通じて、海外から多額の献金が送られてきており、昨年十二月までに、総額約七億五千万円を超える支援がおこなわれている。

昨年の秋になされた支援の主なものは、次の通りである。

南三陸町（宮城県）の志津川地区袖浜へ、作業用の大型テント（幅10メートル、奥行15メートル、高さ4メートル）が提供された。これは、震災後再開した牡蠣ワカメの養殖の作業用テントが、なかなか設置できないでいたため、救世軍が支援することになったもので、主にヨーロッパからの献金でなされた。十一月二十一日引き渡し式がおこなわれ、これには震災支援事務局長が出席した。

女川漁協（宮城県）の離島・出島（いづしま）は、漁場監視船兼救急搬送船（全長17メートル、6.6トン）は、愛知県西尾市の造船所で造られていたが、十一月十九日に宮城県へ海路で搬送され、二十七日、出島で引き渡し式がおこなわれた。大漁旗が翻る、真新しい船「いづしま」を、島の人々は期待と喜びをもって迎えた。晴天ではあったが強風のため、式典は番屋（作業小屋）の中でおこなわれ、漁協及び出島の漁業関係者とその家族、約百人が出席した。救世軍からは、伝道事業部長ほか三人が参加し、出島支部に船の鍵が手渡された。漁協の代表者からは、「震災直後からなされてきた、地元のために適った、迅速な支援」を感謝された。

また、厳しい寒波に襲われた年末、東京地区と関東東北地区の支援チームが大船渡市（岩手県）の永沢仮設住宅を訪問。年越しそばとおせち料理をお届けし、大晦日のひととき、共に歌い、語り合い、楽しい交流の時をもった。

これからの支援としては、南三陸町仮設メモリアルホール建設支援、女川町被災者給食支援施設支援の他、復興が遅れている女川町の離島・出島の船の修理やメンテナンスのために船を陸揚げする際に必要なウインチの提供が予定されている。

皆様のご支援、ご協力を
心から感謝申し上げます。

お問い合わせ、ご献金は……
救世軍本営 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17
http://www.salvationarmy.or.jp TEL 03-3237-0881